

授業科目名	動物病理学	科目コード	2301029		
開講クラス	動物看護師科	コース	動物看護師コース	学 年	2年
担当教員	玉田弘嘉（非常勤講師）				
	実務経験教員（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） 実務経験内容 獣医師免許 玉田動物病院院長 現場での症例を事例として授業に取り入れている				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	31 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第3巻			
	著 者	編：緑書房編集部			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt;            発病のメカニズムと病理学的特徴を理解するため、細胞の損傷、基本病変、免疫異常、浮腫、腫瘍について理解する。</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt;            動物を看護する際は、発病のメカニズムと病理学的特徴を理解することが重要である。この科目では生理機能の障害からどのように病気が発生し、どのように変化し、どのように回復していくのかを理解する。また、病変の特徴や分類、名称、病理学的検査方法、病理学専門用語を学ぶ。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt;            前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、80%を満たすまでの時間数の課題に取り組んだのちに追試験を受けることができる。追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。            通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とする。</p>					

<使用問題集・注意事項>

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

動物臨床看護学各論Ⅰ、Ⅱ

授業科目名		動物病理学
回	授 業 内 容	備 考
1	科目概要、学習目標、病理学とは何か	
2	細胞の死（壊死、アポトーシス、物質沈着）	
3	循環障害①（充血、うっ血、血栓、止血）	
4	↓	
5	循環障害②（塞栓、栓塞、ショック、リンパ系障害）	
6	↓	
7	退行性病変①（萎縮、変性、代謝障害）	
8	進行性病変②（肥大、過形成、再生）	
9	進行性病変③（肉芽組織と創傷の治癒）	
10	↓	
11	炎症①（炎症の転帰、種類）	
12	炎症②（滲出性炎症）	
13	炎症③（慢性炎症）	
14	↓	
15	前期まとめ	
16	先天異常（遺伝要因、環境要因）	
17	免疫異常①（免疫反応と担当細胞）	
18	↓	
19	免疫異常②（アレルギー1～4型）	
20	↓	
21	老齢性病変（形態的、生理的）	
22	腫瘍①（腫瘍とは）	
23	↓	
24	腫瘍②（転移と再発）	

25	↓	
26	腫瘍③（成熟型と未成熟型）	
27	↓	
28	腫瘍④（肉腫と癌腫）	
29	↓	
30	後期まとめ	
31	全体まとめ	